

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 探究型授業のためのコンテンツ研究会

テーマ 探究型授業のためのコンテンツを作成する

取組のポイント・成果

本来なら、集合してコンテンツを作成しようと考えていたが、コロナの影響により、リモートでの実施となった。各メンバーでコンテンツを作成し、(主に Power Point) 作成したものをオンライン会議で発表しあい、実際に授業を実施してコンテンツに修正を加えた。

生徒に、「答えのない問い」を考えさせるようなコンテンツにするためには、教員が現在の経済活動を理解していなければならない。そのために、日経ビジネスオンラインを活用した。日経ビジネスオンラインを活用して教材を収集して、それによって、コンテンツを作成した。また、書籍等も活用しながら、生徒が興味関心をもち、考えることができる教材の開発を行った。全員そのコンテンツを活用して授業を行った。また、コンテンツを他の先生方にも広める方法も Teams を活用することにした。

研究会の実施 (すべてオンラインにて実施)

第1回 8月20日 (木)

- ・研究テーマ、方針について
- ・担当の分担と具体的内容の検討

生徒の探求心を揺さぶるようなコンテンツを作成するにはどうしたらよいかを議論し、答えのない問いや課題を入れることとした。また、それぞれがどの分野を担当するかを決定した。

第2回 9月25日 (金)

- ・各自の作成したコンテンツの交流

各自作成したコンテンツを発表した。他のメンバーの作成したコンテンツを見て、大いに刺激になり、その後の改善の参考になった。また、各自の作成したファイルをサーバー上にアップロードして、それぞれが意見を交換し合った。そして、そこで出た意見をもとに、各自がコンテンツを修正した。

第3回 10月29日 (木)

- ・修正したコンテンツの交流

それぞれに修正したコンテンツを交流した。2回目の交流によって刺激され、改善がなされていた。また、授業で使いやすいようにプリントを作成するなど工夫が見られた。

第4回 1月8日 (金)

- ・完成したコンテンツの発表
- ・コンテンツの活用について

各自が作成し、授業を実施した結果等を踏まえて最終的なコンテンツを完成させた。また、このコンテンツを他の先生方に使っていただくために、Teams 上にアップすることとした。

1月13日 (水) 職員会議にて校内にて発表 2月9日にオンラインで他校の先生にも発表予定

作成したコンテンツの例

ビジネス基礎
第4章
1 ビジネスと企業

企業理念の重要性を理解しよう。

経営理念

考えてみよう

1. 三幸製菓の決断のすごさはどこにあるだろう？
2. 三幸製菓の大雇用は、経営理念の何を大切にしたものだろう。

本時の目標

企業理念の重要性を理解しよう。

企業理念の重要性を理解しよう。

次回までの宿題

経営理念

調べてみよう

1. コロナウイルス感染拡大によって企業が行った善行について調べてみよう。
2. その企業の経営理念はどんなものだろう。また、経営理念のどこを大切にしたら行なわれるだろう。

次回は小松製菓についてみてみましょう

企業理念の重要性を理解しよう。

企業が持続成長するためには

- ・収益をあげる
- ・従業員を増やす
- ・社会に認められる
- ・社会に必要とされる

↓

どんな会社になりたいのか、理想や目標をもつ

経営理念

企業理念の重要性を理解しよう。

経営理念

感謝と創造

カンブリア宮殿
「従業員の幸せが会社を強くする！老舗せんべいメーカーの感動復活劇」より

企業理念の重要性を理解しよう。

日経ビジネス

リスク承知で80人大雇用 地方菓子メーカーの心意気

山田 寛也 38歳
三幸製菓 代表取締役

「経営の三幸製菓。県内で大規模雇用（正社員が80人）」。巨大グローバル企業ではない地場企業が、この時期に入社する。社内に雇用する80人のうち50～60人は正社員として採用。同社の社員はおよそ1000人だから、確かに「大規模雇用」と言っても差は開かない。

日経ビジネス電子版(男気企業～本性は危機でこそ現れる)より

企業理念の重要性を理解しよう。

経営理念

考えてみよう

1. 小松製菓はなぜこんなにも従業員を大切にするのだろう。
2. 従業員を大切にする事でどんなメリットがあるだろう。

今後の課題

今年度、全員にタブレットが配布され、その中でメタモジを今後授業で活用していくことが考えられるため、メタモジで活用できるようなコンテンツを考えたい。また、動画に親しんでいる世代でもあるので、PowerPointではなく、動画等も活用していきたいと考えている。

また、アイデアを出すことが重要であるが、そのためには顔を合わせて雑談のような話ができた方がアイデアが出しやすい。来年度、一度はオンライン以外で顔を合わせる機会を持ちたい。